学校の教育目標

自主・協力・創造

校訓 力行

校訓につなげて、本校では総合的な学習の時間を『力行タイム』とした。

市の教育の重点

【重点】基本方針を明確にした構想や計画の立案と実践、評価
趣旨やねらいをふまえ、学校の基本方針を明確にした構想や計画を立案する。
主体的に問題を解決する資質や能力の基礎、基本を培う体験的・問題的解決的な学習活動を工夫する。
自らの学習活動を評価し、改善を図ることができるよう、一人一人の学習の状況や成果を把握して、指導・援助する。

総合的な学習の時間の目標

【学習指導要領】
(1) 自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てること。
(2) 学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにすること。
【教育課程審議会答申】
自らの課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てること
情報の集め方、調べ方、まとめ方、報告や発表・討論の仕方などの学び方やものの考え方を身に付けること
問題の解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む態度を育成すること
自己の生き方についての自覚を深めること

生徒の実態

- ・やや荒削りな面はあるが、潜在的な活動力をもつ。
- ・明るく伸び伸びとした生活態度で人なつこい。
- ・男女の隔たりなく協力して活動を進める力がある。
- ・規律遵守の意識がやや弱く、節度ある生活が疎かになりがちである。
- ・自己目標達成への意欲、より価値の高いものを追求する意欲に欠ける点があり、安易さがうかがわれる。
- ・リ・ダ・の不在、フォロア・の意識の弱さによる連帯感の弱さがある。(思いやり心の弱さ)

坂本中学校の総合的な学習の時間の基本方針
自己の生き方を考える総合的な学習の時間

目的：生徒の学習の動機付けのために総合的な学習の時間を仕組む。
体制：教師集団の連携・生徒の実体の把握力・学び方を学ばせる手法を身に付ける。
研究：授業の実践的研究として、授業の進め方(ストラテジー・タクティクス)を分野別に研究する。
方法：学年単位を原則として、一クラスを二人以上(チームティ칭ング・テーマ別)の教師が援助・援助に当たる
活動：生徒の信頼できる人間関係づくりを重視して、個の学習と小集団の学習を位置付ける。
学年体制：学級経営・学年経営方針で、学習・生活面で育てたい生徒像を学年単位で明確にして総合的な学習の時間に取り組む。
授業場所：教室及び特別教室・屋外・施設訪問(計画書と届けを事前に提出する)。
職員研修：職員学習会を元に学年・自己研鑽し、各種学習会の取組をする。

<学年指導の重点>		
1年	2年	3年
自分と地域社会 ・「誇れる文化」という視点。 ・「環境」という視点。	自分と日本社会 ・「働く人々」という視点。 ・「福祉」という視点。	自分と国際社会 ・「21世紀の世界をよりよくするため」という視点。

【研究内容】付けたい力の把握と指導のあり方
付けたい力のキーワード
(1) 自己の生き方を見つめる力
(2) 課題を解決する力
・課題発見力
・主体的活動力
・思考判断力
・情報収集力
付けたい力の系統表の作成
付けたい力を示すガイダンスの充実
付けたい力からの評価

【研究内容】指導につながる評価のあり方
学習カードを使った評価の具現化
「力行タイムAカード」
・付けたい力と照らし合わせて活動を記述式で自己評価する。
・仲間と教師からの言葉がけをする。
「力行タイムBカード」
・付けたい力ごとに五段階と記述式で自己評価する。
・学習活動全体を記述式で評価する。
・付けたい力と関連させた教師による個人内評価をする。

<学級づくり>

「支持的共感的な学級」づくりを目指す
学級の規律意識を高め、リズム秩序のある生活をさせる
仲間や教師への信頼と尊敬の気持ちを高める
<方法>・問題のとらえ・発言の仕方・表現の仕方
・学習に対する姿勢
<意識>・差別をしない・注意し合える支持的な関係
・働くことを大切にす姿勢や態度

<基本的生活習慣づくり>

「見逃さず、見届ける」教師の一致した姿勢
重点的に精選した指導事項をしぼる
全職員一斉一致した態勢で臨む
<学習>・ベル席の徹底
・はじめと終わりのあいさつ
・忘れ物をなくす・「はい」という返事
<生活>・時間を守る
・場に応じた正しい服装・ものを大切に扱う
・気持ちを言葉で伝える
・施設備品を大切にする